

コロナウイルス文献情報とコメント(拡散自由)

2022年2月19日

1. 新型コロナ感染後にファイザーワクチンを接種すると、再感染リスクが82%低下する
2. 新型コロナワクチン接種と新型コロナ感染歴による免疫

【松崎雑感】

二つともニューイングランドジャーナルの論文です。新型コロナに感染したから、ワクチンを受けなくとも免疫がしっかりできると思う方が多いと思いますが、実は、それほどでもないようです。

感染歴があっても、新型コロナワクチンを1回でも受けた方が、ずっと高い免疫が確保されます、という論文です。

新型コロナ感染後にファイザーワクチンを接種すると、再感染リスクが82%低下する

Hammerman A (From the Division of Community Medical Services, Clalit Health Services, Tel Aviv) ,et al. **Effectiveness of the BNT162b2 Vaccine after Recovery from Covid-19.** **N Engl J Med.** 2022 Feb 16. doi: 10.1056/NEJMoa2119497. Epub ahead of print. PMID: 35172072.

【要旨】

2021年11月までに新型コロナに感染した人々の再感染リスクを、感染後、ファイザーワクチンを受けた群と受けない群で比較した。

再感染率は、感染後ワクチン接種群で10万人あたり2.46人、非接種群で10万人あたり10.21人となり、感染後ワクチンを接種すると、再感染リスクが82%低下することが分かった。

ワクチン接種回数が1回と2回の間には再感染率の有意差はなかった。

新型コロナ既感染者であっても、ワクチン接種を受けた方が再感染リスクが大きく減ることが分かった。

新型コロナワクチン接種と新型コロナ感染歴による免疫

Hall V (U.K. Health Security Agency) ,et al. **Protection against SARS-CoV-2 after Covid-19 Vaccination and Previous Infection.** **N Engl J Med.** 2022 Feb 16. doi: 10.1056/NEJMoa2118691. Epub ahead of print. PMID: 35172051.

【要旨】

新型コロナ感染歴もワクチン接種も、コロナパンデミックを乗り切るための免疫形成上重要である。

ワクチン接種群と未接種群において、イギリスのヘルスケアワーカーに定期的PCRを行い、ワクチン接種の有無と既往感染の有無別に、感染（新規あるいは再感染）発生までの期間を比較した。

ワクチン接種率は97%。感染歴なし群では、ワクチン完了から14～73日以内群で感染リスクが85%低下していたが、201日（平均）後群では、51%低下となっていた。

ファイザーワクチン接種者では接種完了後の経過日数による効果の低下は見られなかったが、アストラゼネカワクチンの73日以内群では、感染リスク低下が58%とファイザーワクチンよりはるかに低率だった。

感染を受けた群の免疫は、1年後、ワクチン未接種者では大きく低下していたが、感染後ワクチン接種群では、90%以上に保たれていた。

<結論> ファイザーワクチン完了者では、6か月後免疫が低下していたが、**感染経験後ワクチンを受けた群では、1年後も免疫が保たれていた。**